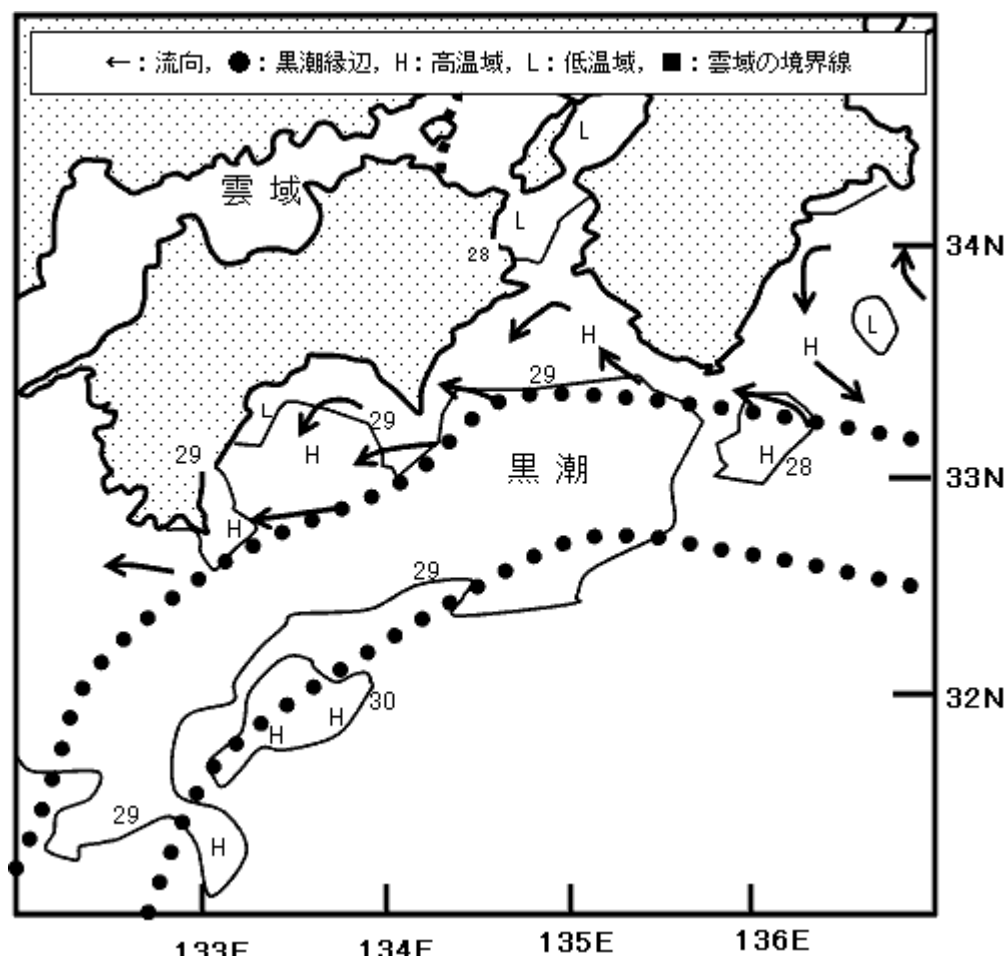


1. 海況の経過



上に和歌山県の人工衛星画像海況速報(HI9.9.17~18)を示した。

黒潮は室戸岬沖、潮岬沖とも接岸している。黒潮本流の表面水温は29℃台である。

表面水温は播磨灘が27℃台で、紀伊水道内部が27~28℃台で、外域は28~29℃台である。

潮岬沖~室戸岬沖の黒潮が接岸しており、紀伊水道沖の黒潮から28℃台の黒潮系水が紀伊水道外域へ流入している。

漁業調査船「とくしま」が9月3、4、10日に行った紀伊水道海区の海洋観測結果では、水温は全層とも「やや高め」の27.2℃~23.4℃であった。9月11日に行った播磨灘海区でも、水温は全層とも「やや高め」の27.8℃~26.8℃であった。

紀伊水道海区観測結果 (観測日 2007/09/3、4、10)

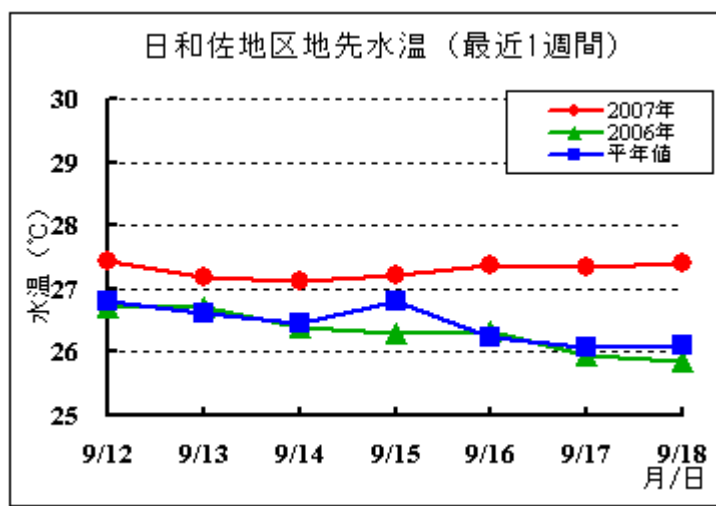
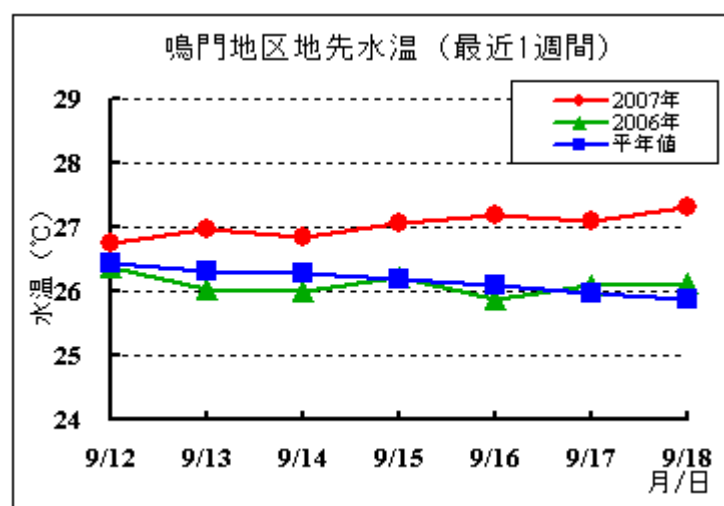
水温	水深					塩分	水深				
	表層	10m	20m	30m	50m		表層	10m	20m	30m	50m
今年値	27.2	26.4	25.8	25.5	23.4	今年値	32.5	32.9	33.3	33.6	34.2
平年偏差	1.2	0.7	0.4	0.6	0.9	平年偏差	0.6	0.3	0.3	0.2	0.1
前年偏差	1.2	0.2	-0.5	-0.9	-2.2	前年偏差	1.5	0.7	0.7	0.7	0.4

播磨灘海区観測結果 (観測日 2007/09/11)

水温	水深				塩分	水深			
	表層	10m	20m	30m		表層	10m	20m	30m
今年値	27.8	27.4	27.2	26.8	今年値	32.0	32.0	32.1	32.3
平年偏差	0.6	1.0	1.2	1.3	平年偏差	0.4	0.3	0.3	0.4
前年偏差	1.5	1.1	0.9	0.6	前年偏差	0.9	1.0	0.9	0.9

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の26.7～27.3℃で、日和佐地区が「平年並み」～「やや高め」の27.1～27.5℃で、牟岐地区は「平年並み」～「やや高め」の26.6～28.0℃で推移した。



2. 漁況の経過

小型定置網:海部沿岸で、マアジが3.2トン(1日1隻あたり460kg)、カタクチイワシが1.1トン(同178kg)、カワハギが0.4トン(同28kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、中・小主体にタチウオが0.3トン(同27kg)、小主体にヨコワが0.3トン(同25kg)、紀伊水道でタチウオが1.3トン(同29kg)、中主体にサワラが3.1トン(同80kg)水揚げされた。

パッチ網:紀伊水道で、シラスが2.5トン(同38kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋)9月10日～9月16日 県下8漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	マアジ	7	3,218	460	
		カタクチイワシ	6	1,066	178	
		カワハギ	14	393	28	
釣り	海部沿岸	タチウオ	13	345	27	中・小主体
		ヨコワ	11	270	25	小主体
釣り	紀伊水道	タチウオ	44	1,280	29	
		サワラ	39	3,117	80	中主体
パッチ網		シラス	66	2,475	38	

特異事項:

- ・先週に引き続き、日和佐及び由岐沿岸に、タコクラゲの出現がみられる。
- ・9月7日に里浦の沖合3マイル付近の底曳き網漁業で傘径80cmのビゼンクラゲが採集された。ビゼンクラゲが徳島県でみられるのは初めて。
- ・9月中頃から紀伊水道海区中央部の徳島県側でユウレイクラゲが大量に出現しており、南の方がより多くみられる。

週間予報:

- ・室戸岬沖～潮岬沖の黒潮は接岸する見込み。
- ・地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の27℃台、日和佐地先で「やや高め」の27～28℃で推移する見込み。

他県情報:

- ・和歌山県の釣りでスルメイカが13.2トン(1日1隻あたり61kg)、タチウオが1.3トン(同6kg)、イサキが1.4トン(同7kg)水揚げされた。
- ・高知県芸東地域の大型定置網で、マアジが5.7トン、サバ類が1.5トン、マルソウダが12.9トン、シイラが1.5トン水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上